

令和6年度(第76回)

東北・北海道地区高等学校通信制教育研究会秋季総会並びに研究協議会（山形大会） 実施報告書

事 項	内 容
事 業 名	令和6年度(第76回) 東北・北海道地区高等学校通信制教育研究会 秋季総会並びに研究協議会（山形大会）
期 日	令和6年10月24日（木）～25日（金）
開催場所	東京第一ホテル鶴岡
主 催	東北・北海道地区高等学校通信制教育研究会
後 援	山形県教育委員会、山形県高等学校長会、山形県高等学校定時制通信制教育振興会 公益財団法人日本教育公務員弘済会山形支部、NHK山形放送局・NHK出版
参 加 者	67名（来賓6名、分科会助言者4名、東北・北海道地区高等学校通信制教育研究会加 盟校教職員47名、大会主管校教職員10名）
参 加 費	5,000円/人
実質的目的	高等学校通信制教育において、東北・北海道実施校相互の理解と認識を深め、現在及び 将来における種々の問題に関する研究協議を行う。
実施内容	<p>&lt;令和6年10月24日（木）&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会式（13:00～13:25）</li> <li>2 総会（13:30～13:55）</li> <li>3 情報提供（14:00～14:15） 「少年院在院者に対する高等学校教育機会の提供等について」 法務省仙台矯正管区少年矯正第一課 課長 會澤 壮史 様</li> <li>4 研究協議会 分科会（14:30～16:30） <ul style="list-style-type: none"> <li>○第1分科会（教育課程・学習指導） <ul style="list-style-type: none"> <li>・発表1 「本校の教育DX化 ～働き方改革×令和型教育システム～」 青森県立八戸中央高等学校 教諭 貝吹 啓靖 先生</li> <li>・発表2 「学習指導部の業務について」 宮城県美田園高等学校 教諭 飯田 雅一 先生</li> <li>・司会者 北海道有朋高等学校 教諭 早坂 頼吾 先生</li> <li>・助言者 山形県教育局高校教育課 指導主事 栗村 智也 様</li> </ul> </li> <li>○第2分科会（進路指導） <ul style="list-style-type: none"> <li>・発表1 「個々の生徒のキャリア形成・自己実現に向けた指導・支援」 青森県立北斗高等学校 教諭 神 智子 先生</li> <li>・発表2 「本校における進路指導」 秋田県立秋田明德館高等学校教諭 教諭 遠藤 博文 先生</li> <li>・司会者 星槎国際高等学校 副校長 牧野 秀昭 先生</li> <li>・助言者 山形県教育局高校教育課 指導主事 伊藤 大介 様</li> </ul> </li> <li>○第3分科会（生徒指導） <ul style="list-style-type: none"> <li>・発表1 「クラーク高校仙台キャンパスで育む自分に自信をつける生徒指導」 クラーク記念国際高等学校 教諭 片柳 博行 先生</li> <li>・発表2 「郡山萌世高校の個別支援教育」 福島県立郡山萌世高等学校 教諭 上田 正孝 先生</li> <li>・司会者 青森県立尾上総合高等学校 教頭 安田 聡子 先生</li> <li>・助言者 山形県教育局高校教育課 指導主事 鍵水 智津子 様</li> </ul> </li> <li>○第4分科会（放送教育） <ul style="list-style-type: none"> <li>・協議内容「放送視聴利用促進における課題と改善策について」</li> <li>・岩手県立杜陵高等学校 副校長 藤田 早苗 先生</li> <li>・助言者 NHKエデュケーショナル コンテンツ制作開発センター 教育部 専任部長 櫛田 晃 様 全通研放送教育研究委員 NHK学園高等学校 統括教諭 森山 了一 様</li> </ul> </li> </ul> </li> </ol>

事項	内 容
実施内容	<p>&lt;令和6年10月25日(金)&gt;</p> <p>5 研究協議会 全体会 (9:00~10:10) 各分科会司会者から、発表内容と研究協議について報告</p> <p>6 記念講演 (10:20~11:40) 「これからの時代を生き抜くためのストレスマネジメント教育の実践例」 桜美林大学 准教授 小関 俊祐 先生</p> <p>7 閉会式 (11:40~12:00)</p>
成 果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究協議では、各分科会において通信制課程における諸課題についての各学校の取り組みについての発表、研究協議が行われ、最後に助言をいただいた。</li> <li>・第4分科会(放送教育)においては、次年度以降の分科会の運営方法等についても意見交換が行われた。</li> <li>・記念講演においては、桜美林大学 准教授 小関 俊祐 先生より「これからの時代を生き抜くためのストレスマネジメント教育の実践例」についてご講演をいただいた。ストレスマネジメント教育が子供たちの生きる力を育てる学校教育目標と一致させることや早期からのストレス対処スキルの習得することの重要性、学校・家庭・、専門家の協働の必要性について言及された。</li> <li>・2日間を通して有意義な研究協議等が実施でき、参加者の資質・能力を向上させることができたと思われる。</li> </ul>